

★地域活動

「野口ようすけ感謝の集い」御礼

「野口ようすけ新春の集い」を開催いたしました。ご来賓をはじめ、約200名の支援者の皆様方にご参加をいただき、大きな元気をいただきました。

心から感謝を申し上げますとともに、頂戴いたしました激励のお言葉を胸に、これからも議会活動、地域活動に邁進してまいります。今後もよろしくお願い申し上げます。



皆様への感謝のスピーチ <2月8日> ゆうゆうセンターにて

天の川わんぱく村 1期生卒業

わんぱく村は、自然を愛する、次代を担う若者を育てるために、小学1～3年生に自然を活かした遊び方、楽しみ方、味わい方を学んでもらう活動です。今では経験することが少なくなった昔遊びや魚とり、苗つけ、芋ほりなどを体験して少したくましくなった1期生（78名）が2月22日に卒業しました。

4月18日には第2期生（80名）が元気に活動を開始します。応援をよろしくお願い申し上げます。



大紙芝居



芋の苗つけ

環境フェスタ

<3月8日>
星の里いわふねにて

「環境フェスタin交野」に参加し、日常的に環境保全啓蒙に取り組まれている方々の活動に刺激を受けました。

私も、事務局長を務める「天の川を美しくする会」の清掃活動紹介や生体展示を通じて交野の自然の豊かさと自然との共生の大切さをお伝えしました。天の川の水質が改善していることを紹介すると多くの方に喜んでいただきました。また、地域の方々と一緒に参加したもちつきでは、交野のもち米から作った美味しいお餅を皆さまと一緒に楽しみました。



天の川を美しくする会
環境展示



もちつき

お電話・FAX・Eメール・ホームページにてご相談ください。

野口ようすけ

【TEL/FAX】072-397-9615

【Email】ynoguchi_katano@hello.zaq.jp

最新情報、議会報告、活動内容は、

野口ようすけ

検索



☆ひとが育つまちづくり☆

野口ようすけと通信

星のまち ほつと

発行日：2015年4月
発行人：野口陽輔

27号

★ご挨拶



交野市議会議員の野口陽輔です。去る3月に平成27年第1回定例会議が行われ平成27年度の予算が可決されました。今回のほつと通信では、今年度の交野市の主な動きと本会議での主な一般質問を掲載させていただいております。市民の皆様におかれましても、それぞれの立場で新たなスタートをお迎えになっておられることと思いますが、皆様にとって素晴らしい一年になりますことをご祈念申し上げます。

★数字で見る平成27年度の交野市

基金約13億円を取り崩しての厳しい予算編成となる

平成27年度交野市の予算

(単位 万円)

会計区分	平成27年度	平成26年度	比較	対前年比(%)
一般会計	244億8千5百	231億4千	増加 13億4千5百	5.8
国民健康保険	98億2千9百	83億8千5百	増加 14億4千4百	17.2
下水道事業	19億3千4百	18億9千6百	増加 3千8百	2.0
介護保険	50億9千2百	51億2千3百	減少 △3千1百	△0.6
公共用地先行取得	3億7百	3億1千2百	減少 △5百	△1.6
後期高齢者医療	10億6千3百	10億7千	減少 △7百	△0.7
合計	427億1千	399億2千6百	増加 27億8千4百	7.0

○市税収入の減少（個人住民税3.4%、法人市民税13.6%減）

アベノミクス効果は交野市に届いておらず市税収入は減少する見通しです。今年度は基金を取り崩して何とか収支を均衡にしています。今後は事業の選択と集中を進めてさらなる効率化を図る必要があります。

○大型事業が本格化（新学校給食センター、新ごみ処理施設建設）

給食センターやごみ処理施設の老朽化による建て替え整備が本格化します。今後は他の公共施設も老朽化対策が必要となりますが、稼働率・利用内容・人口構造の変化等を踏まえ、より有効的に活用していく必要があります。

★主な施策で見る平成27年度の交野市

マイナンバー制度の導入 (H27/10月通知・H28/1月開始)

国民1人1人に12桁の番号が付与されます。公的機関同士で個人情報をやりとりできるようになるため、行政手続きが簡単になり、時間が短縮され、データの照会ミスがなくなるというメリットがあります。

住民票等コンビニ交付サービス開始 (H28/2月)

コンビニエンスストアに設置されたマルチコピー機を使って、住民票などの各種証明書が取得できるようになります。
交付可能証明書：住民票・印鑑証明・戸籍証明・戸籍附票・課税証明

プレミアム付き商品券の発行 (H27/10~12)

6千円分のお買い物ができる商品券を5千円で購入することができます。地域消費の喚起を目的とした国の事業として行われるので、利用者がお得だけでなく、使えば使うほど地元が潤うしくみになっています。

防犯カメラの設置

市内小学校の通学路に防犯カメラ50台を設置し子どもたちの安全確保につとめます。

病児保育の開始

病児保育とは、熱発など体調に不安がある幼児も保育してもらえる制度です。新設される交野病院において、27年度中の開設に向けて準備が進められています。

子ども・子育て支援新制度の開始

保育所への入所条件が緩和され、これまで以上に入所しやすくなります。条件緩和に伴う入所者増加に対応するため、小規模保育施設の運営を開始するなど、定員も増やします。

耐震シェルター設置補助の開始

耐震シェルターとは、地震により家屋が倒壊しても部屋の空間を確保し、手軽に安全性を高められる構造物です。現行の民間木造住宅耐震補助制度を耐震シェルターの設置に対しても適用していきます。

★第1回定例議会報告

3月9日、次の一般質問を行いました。



本会議の風景

一般質問とは、議員が行政全般にわたり、市長などの執行機関に対して、事務の執行状況や将来に対する方針などについて質問することをいいます。方針の変更や新規政策の採用につながることもあり、市民の代表として市政運営を監視する役割を担う議員の重要な仕事です。

◆生活道路の舗装充実を

【質問】多くの市民から生活道路の舗装の整備を要望されている。高齢者社会では、道路の少しの段差が怪我を招く恐れがある。市は早急な対応を。

【回答】ガス管などの埋設業者の工事と合わせなど効率的な整備をおこなっていく。

野口の視点



市内の生活道路は207km、その内荒れがひどいのが約60km(約29%)。現在の予算では1年間で1kmしか整備できないので約60年かかる。さらなる増額が必要であると訴えていく

野口の視点



地方に行けば美味しい水は多いが大都市近郊で自然の地下水を水道水として飲めるのは大きな魅力。子育て世代の定住促進につながると思う

◆「かたのの水」をブランドに

【質問】交野の水は自然がもたらした大きな財産である。人の往来の多い場所に水飲み場を設置するなど交野の魅力を伝える取り組みにはどうか。

【回答】課題はあるが検討に値する。まちの顔づくりとして検討していきたい。

◆保育事業の今後についてを問う

【質問】今後、待機児童の解消に努めれば保育事業にかかる総事業費は約9億円。保育事業は今後、更に拡大すべき事業であるが、財源の確保はどう考えているのか。また、事業の在り方を見直すべきでは。

【回答】保育行政の在り方を組織的に検証する。

野口の視点



若い世代に移住定住してもらうには保育事業の充実が欠かせない。一方では、そのための財源確保も必要。事業の民営化も今後の検討の一つである